

部局名	教育委員会	所属名	保健体育課	所属長名	三間 芳弘	電 話	483-1151 内線6160
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3493		事務事業名称	学校体育事業					短縮コード	経常	3493	臨時	3667
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
水泳実技研修会は、教育公務員特例法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、研修義務として実施。小中学校総合体育祭は、昭和41年から、児童生徒の健康の増進、体力の向上、学校相互の交流を目的に開始。ミニバスケットボール大会、小中学校体育連盟事業の補助事業は、昭和50年から、児童生徒の健康の増進、体力の向上、学校相互の交流を目的に開始。昭和56年から、全国大会に出場する者の経費負担削減を図るとともに、学校・地域体育の向上を図るために開始。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
教員実技研修会は、経験年数の少ない教員の増加にともない、指導力向上の点から必要である。ミニバスケットボール大会、小中学校総合体育祭、小中学校体育連盟事業の補助事業は、スポーツへの関心が高く、技能向上や工夫がみられ、充実してきている。 県立八千代高等学校のバスケットボール部は全国大会への出場が7年連続8回目となる。また、八千代松陰高等学校の新体操部も全国大会出場の常連校となっている。地元住民はもとより、市民の関心も高まっている。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	03	健康・安全の確保						
					細 項 目	01	体育・スポーツの充実						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内公立小中学校の児童生徒教員 八千代市小中学校体育連盟							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ＜各学校へ依頼＞ 1．教員実技研修会の実施 2．小・中学校総合体育祭の実施 3．ミニバスケットボール大会の実施 ＜申請による＞ 1．八千代市小中学校体育連盟の事業補助 2．全国高等学校体育連盟主催の全国大会出場に係わる経費の補助 ＜申請による＞ 全国高等学校体育連盟主催の全国大会出場に係わる経費の補助 ① 県立八千代高等学校バスケットボール部（インターハイ）							
	※平成21年度に計画していること： ＜各学校へ依頼＞ 1．教員実技研修会の実施 2．小・中学校総合体育祭の実施 3．ミニバスケットボール大会の実施 ＜申請による＞ 1．八千代市小中学校体育連盟の事業補助 2．全国高等学校体育連盟主催の全国大会出場に係わる経費の補助							
意図 （何を狙っているのか）	教員の資質の向上及び充実を図る。 知徳体の心と体が一体となった調和のとれた児童生徒の育成と児童生徒の体力の向上を図る。 学校・地域体育の活性化。高校生は勿論、地元小中学校児童生徒及び地域住民のスポーツに対する興味関心を高め、体力の向上を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内公立小学校5，6年生，中学校2年生の児童生徒教	人	5,188	5,292	5,292	5,517	
	指標2	八千代市小中学校体育連盟総事業費	円	1,514,911	1,513,194	1,533,130	1,545,283	
	指標3	市内公立小中学校の新体力テスト実施児童生徒数	人	15,169	16,337	15,490	16,534	
活動指標	指標1	小中学校総合体育祭参加者数	人	5,188	5,292	5,292	5,517	
	指標2	市補助金額	円	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	指標3	新体力テストの評価がA～Cの児童生徒数	人	12,243	13,232	12,514	13,228	
成果指標	指標1	総合体育祭参加率	%	100	100	100	100	
	指標2	補助率（市補助金額／八千代市小中学校体育連盟総事業費）	%	66	66	65.2	64.7	
	指標3	基礎体力指数（評価がA～Cの児童生徒数／実施者数）	%	80.7	81	80.7	81	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3493	事務事業名称	学校体育事業			所属名	保健体育課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	6,022	7,014	6,714	7,033	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			小中学校総合体育祭事業3,987千円 八千代市小中学校体育連盟補助金1,000千円	小中学校総合体育祭事業4,962千円 八千代市小中学校体育連盟補助金1,000千円	小中学校総合体育祭事業5,290千円 八千代市小中学校体育連盟補助金1,000千円	小中学校総合体育祭事業5,950千円 八千代市小中学校体育連盟補助金1,000千円	
	人件費(B)			千円	11,464	11,387.5	15,387.8	
トータルコスト(A)+(B)			千円		17,486	18,401.5	22,101.8	
							22,420.8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由									
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	小中学校総合体育祭，ミニバスケットボール大会の実施，教職員の指導力向上のための研修等は，児童生徒の体力と精神力の醸成に有効であり，健康・安全の確保，及び学校教育の充実，更には，人間尊重都市の実現に寄与するものである。									
			☐ 結び付くが見直しの余地がある										
			☐ 結びつきが弱い・ない										
			☐ 評価対象外事項										
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	教員を対象にした実技研修会を充実させ，体育指導の向上を図るとともに，小中学校総合体育祭，ミニバスケットボール大会等の行事に対する取組を充実させることが必要である。									
			☒ 達成していない										
			☐ 評価対象外事項										
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	実技研修会，小中学校総合体育祭，ミニバスケットボール大会，小中学校体育連盟事業の補助事業については，小中学校の教職員，児童生徒を対象に行うため，専門性や教職員，児童生徒の実態把握が必要であり，民営化になじまない。 全国大会出場のための補助事業については，全国大会出場決定から事業実施までの期間が短いことや年度によって実施が未定であることから民営化になじまない。									
			☒ 可能性はない										
			☐ 評価対象外事項										
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	所期目的の変更はなく，現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。									
			☐ 見直す必要がある										
☐ 評価対象外事項													
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	教員の体育指導の充実を図るための各種研修会の工夫や小中学校総合体育祭，ミニバスケットボール大会等の行事に対する取組の充実により有効性を十分に発揮しているので可能性はない。									
			☐ 効率性向上の可能性はある										
			☐ 両方可能性はある										
			☒ 可能性がない										
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等											
		☐ 臨時的任用職員等の活用											
		☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し											
		☐ 受益者負担の見直し											
		☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
		☐ 上記以外の方法								2		実施主体 （所管部署）	
		⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）							☐ ある				
	☐ ない												

コード	3493	事務事業名称	学校体育事業				所属名	保健体育課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今まで通り，教職経験の少ない初若年教員を中心に，体力向上のための指導法，運動技能習得のための指導法等の研修会の充実を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			各種研修会の充実を通して，各事業の目的を達成できるようにする。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
教員実技研修会は，教員の資質の向上及び充実を図り，授業の質的改善を図る上で大切である。小中学校総合体育祭，ミニバスケットボール大会は，普段の体育学習の発表の場であり，保護者や地域住民の関心が高く，多くの方が応援に来られる。来賓として議長を始め議員の方も多数出席していただいている。ケーブルテレビを通して学校の演技発表を見た市民の方が学校に賞賛の手紙を出された。小中学校体育連盟事業の補助事業は，児童生徒の健康の増進，体力の向上を図るための事業であり，学校間の交流を通して切磋琢磨し合い，各学校の特色ある教育活動に役立っている。 地域体育向上のために，全国大会などへの出場は不可欠であり，地域の活性化につながる。全国大会に出場する学校・生徒・保護者への補助は，経費の削減は勿論，全国大会出場報告会（参加生徒・顧問教師参加）などを通して，各高等学校との連携を密にしている。									

所属長コメント	研修会の開催や行事，大会の運営を通し，児童生徒の体力の向上が図られている。また，体育団体の活動に対し補助することにより，活動意欲を高め，成果を残している。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									